

「文理融合・学際的学び」が加速



数学の奥深さに触れるカリキュラムを通し、数学教員に必要な知識・技術、数理的思考を修得

本学では地域・社会有為の人材を育成すべくコースの新設・統合・名称変更を図り、令和5年度より新生19コースをスタートさせた。学生の知的探究心や学問への意欲を汲み取り、育て、体系的な学びへと繋げる副専攻制度は時代に即した新たなコースを追加。文理融合・学際的な学びの環境を整え、複眼的思考力・多元的理解力でもって諸問題にアプローチできる人材を養成する。

数理教育コースがスタート

今年4月より3学部6学科19「数理教育コース(中高教員)」だ。コースが始まった(下表参照)。三重県小学校教員採用数で県下注目は教育学科に新設された。トップの実績を誇る本学にとつ



初の数学教員として期待がかかる学生たち。左から山路さん、寺本さん、豊田さん

豊田のんさんは数学の楽しさを教えられる教員になりたいとの思いから、本学への入学を決めた。他の学生と意見を交わしながらさまざまな現象を多面的に分析する「解析学基礎」をはじめ高校数学とは違うスタイルが新鮮と言いつつ、「新しいコースということでは不安はあったが、皆さんの教員を輩出している大学であり、先生方もみな親切なので安心した。気さくな人柄の人が多く楽しい」と同コース

本学では学部の枠にとらわれず、ことごとく興味・関心のある事柄を体系的に学び、複眼的な視点を養ってほしいと副専攻制度を設けている。令和5年度から新しく4つの副専攻が増え、さらに充実した内容となっており、諸要件を満たした場合、自身が所属する学科(主専攻)に加え副専攻の修了が認定される。副専攻の修了者には修了証が発行され、学びの成果を対外的・社会的に証明できる。

山路彩生さんは「答えは一つでも解き方は人それぞれ。大学の数学は解くプロセスそのものを尊重してくれる。一人ではなく友人と相談しながら解くことは、今までの向き合い方と一味違つて興味深い」と語った。夢への第一歩を踏み出した学生たち。今後の成長に、期待は膨らむばかりだ。

「AI戦略2019」のうち、「リテラシーレベル」をベースに、数理解・データサイエンス・AIの考え方を各学部の専門性に活かす「応用基礎レベル」をめざす。社会有為の人材をめざして自らのキャリア形成について考え、とくに公務員として身に付けるべき知識や教養を学び、多様な

ChatGPT(チャットGPT)などのLLM(Large Language Models)・大規模言語モデルを使った学習活動についての議論が活発だ。ビッグデータの中から質問内容に関連度の高いものを探して自然言語で答えが出力される▼これを自分の書いたものとして提出すると自らの活動ではないため、不正行為にあたるというのが大筋の見方だ。文部科学省も小中高向けのLLMの使用指針を公表した▼そもそも、ものを書くという行為は、思考の整理にとっても役立つ。頭の中で考えているだけではまとまらなかったことが、書くことと実像をもつて浮かび上がる▼それには、書き手が書きたい内容を書くことが大切で、与えられたお題に対して何か書けといわれてもなかなか上手くはいかない▼そここそ学習活動におけるLLMの課題があるのではないか。つまり、書き手が自らの欲求や必要があつて書くのではなく、書かされるために、LLM任せにしてしまおうということになる▼教師が教えたことではなく、学習者本位の学びに沿った課題をどう与えられるか、教師のAIリテラシーの伸長が求められている。

令和5年度より副専攻制度がさらに充実

1 データサイエンス

今後のデジタル社会を担う人材養成方針として国が推進する「AI戦略2019」のうち、「リテラシーレベル」をベースに、数理解・データサイエンス・AIの考え方を各学部の専門性に活かす「応用基礎レベル」をめざす。

2 キャリア「公務員」

社会有為の人材をめざして自らのキャリア形成について考え、とくに公務員として身に付けるべき知識や教養を学び、多様な

3 SDGsとビジネス

2030年までに持続可能でよりよい世界をめざす国際目標であるSDGsを踏まえ、ビジネスの観点から実際の各専門領域でSDGsの理念をどのように活かすか考える。

4 プログラミング(初等中等教育)

初等中等教育の現場で活用できるプログラミングをはじめとするICTに関する技術や知識を身に付ける。

5 日本語教育

日本語教育能力検定試験の出題分野を含む講義で構成し、日本語教育の専門家として必要とされる知識・能力の基礎的水準の達成をめざす。

6 中国文化学

語学(中国語)・文学・思想・歴史・芸術(書道)の学習を通じて中国を中心に、日本を含む東アジアについての知識を体系的・総合的に学ぶ。

7 伊勢志摩定住自立圏共生学

地(知)の拠点大学に位置付けられる本学で、将来、地域で活躍するアクティブ・シチズン(主体的かつ積極的に地域の課題解決を実践する人材)として必要な学びと活動を実践する。

令和5年度 3学部6学科19コース

文学部	神道学科
	神道・宗教文化コース
	国文学科
	国語学・国文学コース
	国語教育コース(中高教員)
	書道・漢文学コース
図書館司書コース	
教育学部	国史学科
	国史総合コース
	歴史教育コース(中高教員)
	歴史文化財コース
現代日本社会学部	コミュニケーション学科
	英語コミュニケーションコース
	英語教育コース(中高教員)
	心理学コース
現代日本社会学部	教育学科
	初等教育コース
	幼児教育コース
	保健体育コース(中高教員)
現代日本社会学部	数理教育コース(中高教員)
	現代日本社会学科
	経営革新コース
	地域創生コース
現代日本社会学部	福祉展開コース

皇學館学園報

第96号
令和5年7月

歌こよみ
み吉野の
滝の白波
知らねども
語りし継げば
古思ほゆ
土理宣念

■注目記事

- カルチャー&スポーツ 2面
駅伝競走部新監督に寺田夏生氏が就任
- アカデミック 3面
令和5年度科研費に4研究が採択
- グローバル 4面
「全米さくらの女王」が来校
- 地域連携 5面
学生がCLL活動をアップデート
CLL Leader's Workshopを開催
- 中高トピックス 6面
皇學館高校2年が北海道へ4泊5日の修学旅行/中部フィルハーモニー交響楽団が皇學館中学校に来校 ほか
- 7面
令和4年度収支決算報告
- アクティヴスチューデント 8面
中川陽司さんがU20日本選手権十種で3位
学生広報隊が「よさこい部」雅」を取材 ほか
- シリーズ 3面
研究室探訪②
村瀬雅俊特命教授(教育学部)

発行・編集 学校法人皇學館 企画部
TEL 0596-22-6496・8600

大学 | 大学院 | 文学部 | 教育学部 |
専攻科 | 現代日本社会学部

〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL 0596-22-0201(代) FAX 0596-27-1704

高等学校・中学校
三重県伊勢市楠部町138
[高校] 〒516-8577 TEL 0596-22-0205(代)
[中学] 〒516-8588 TEL 0596-23-1398(代)



Culture & Sports カルチャー&スポーツ

柔道部、駅伝競走部、硬式野球部が合同で構内清掃



6月2日から3日にかけて記録的な大雨に見舞われた東海地方。6月5日、学生部長である加藤純一教授の声掛けにより、本学強化指定クラブの柔道部、駅伝競走部、強化奨励クラブの硬式野球部が集い、構内の清掃活動を行った。

皇學館大学駅伝競走部 新監督就任のお知らせ

この度、令和5年7月1日付で本学駅伝競走部の監督に、元JR東日本陸上競技部の寺田夏生氏が就任いたしました。



寺田監督コメント(抜粋)

大役を任せていただき大変身が引き締まる思いでございます。監督不在という大変厳しい中、選手たちそれぞれがチームのために考え、行動してくれたことに感謝したいです。

【寺田監督の略歴】 國學院大學在学中、4年連続で箱根駅伝に出場。平成23年の大会ではゴール手前の交差点で道を間違えるも、猛追により10位でゴール。

人事異動 令和5年7月1日付 ()内は旧職

- 採用 学生支援部学生担当事務嘱託 寺田 夏生
配置換 総務部総務担当主幹 玉田 功
学生支援部学生担当主幹 橋本 恵子
学生支援部教務担当主幹 諸岡 大輔

新任教職員紹介 令和5年7月1日付

出身地・経歴等 趣味・特技等 座右の銘 一言メッセージ
寺田 夏生
1長崎県 2食べ歩き、野球 3人間に与えられた最大の力は努力です。4たくさんの人に愛され、応援される駅伝競走部をめざします!

悔しさを糧に奮起誓う

柔道部 駅伝競走部 硬式野球部



Table with 5 columns: Rank, Name, University, Weight Class, and Record. Lists top performers like 山村 隆斗 and 山田 健輔.

8月29日には東海学生柔道体重別選手権大会が控えている。今回の悔しさを胸に、稽古に励む日は続く。



3組は岩島選手が1位、藤川選手が4位

Table with 3 columns: Rank, University Name, and Total Time. Lists results for various universities like 名古屋大学 and 皇學館大学.

14日実施)への出場を表明。新たな挑戦に向けて早くも動き出した。

主将の南大介選手(現日4)は「今大会は負けてしまったが、夏の個人戦と秋の団体戦で結果を出して皇學館大学に貢献できるように頑張ります」と話し、佐藤武尊部長

6月24日にマルヤス岡崎龍北スタジアムで行われた第55回全日本大学駅伝対校選手権大会東海地区選考会

選手(コミ3)が奮闘。0:07秒の僅差で名古屋大学に逆転した。最終4組目には松野颯斗選手(現日4)、畠山大輔選手(国史3)が登場。

近大に惜敗、2回戦進出ならず

総合2位で本戦出場逃す

一步及ばず準V

東海地区大学野球リーグ春季選手権大会



上/全力でプレーする選手たち
左/スタンドからは選手たちに熱い声援が送られた

明治神宮球場で行われる第72回全日本大学野球選手権大会への出場を

にもつれ込んだ。失点率が最小だった本学はトーナメント戦で

渡部年晴 元精華寮寮長が 瑞宝小綬章受章



元一等海佐で元精華寮寮長の渡部年晴氏(国史第9期卒)が令和5年「春の叙勲」で瑞宝小綬章を受章し、陛下に拝謁した。

同章は国または公共のために長年にわたり功労を積み成績を挙げた人に贈られるもの。愛媛県の神職の子弟である氏は本学から海上自衛隊幹部候補生学校(旧海軍兵学校)に進み、潜水艦「たけしお」「ふゆしお」、潜水艦救難艦「ちはや」の艦長を歴任。さらに潜水隊司令、情報保全隊司令(防衛省)として30余年の海上自衛隊勤務のうち3分の1にあたる期間、国防の最前線でその重責を担ってきた。

受章に際し、氏は「全ては神様のご加護と支えていただいた上司・部下・同僚のおかげであり、残りの人生、拝謁時に賜ったお言葉、感謝と清廉な気持ちを忘れず神明奉仕に努める所存であります」と述べられた。

秋学期よりチャイムが 校歌のメロディに

来る創立百五十周年・再興七十周年の佳節を見据え、秋学期開校日(9月16日)より授業開始・終了時のチャイム音を校歌をアレンジしたメロディに変更することが決まった。

現状、校歌を歌う機会は入学式や学位授与式などに限られている。河野訓学長は「学生の皆さんにとってチャイムは身近なもの。緑豊かなキャンパスで過ごし、日々流れるチャイムの調べが愛校心を醸成する一助となることを期待しています」と述べた。

令和5年度科研費に4研究が採択

令和5年度 科研費新規採択課題一覧

Table with 4 columns: 研究課題名, 研究種目, 研究期間, 研究代表者. It lists four research projects selected for the 2023 fiscal year grant-in-aid, including topics on parasitic wasps, social issues, and ancient rituals.

今年度の科学研究費助成事業(通称「科研費」)に本学の4研究が採択された。国内最大規模の競争的資金制度である「科研費」は研究者の自由な発想に基づく研究の推進を目的としており、人文社会科学から自然科学まで、すべての分野におけるあらゆる学術研究を対象とする。税金を財源とするためピア・レビュー方式(専門分野の近い複数の研究者による審査)によって厳しく、かつ高い透明性をもって評価され、新規の採択率は3割を切る。採択された研究テーマと代表者は以下の通り。



田浦雅徳氏

前特命教授の田浦雅徳氏は昭和28年生まれ。東京大学人文社会科学系研究科日本文化研究専攻日本史学専門分野博士課程を満期退学、平成9年には同大より博士(文学)の学位を授与された。同年に本学国史学科助教授に任用され、以来、26年に及ぶ勤務の中で学生部長、学長補佐等を歴任。また、自治体史の

専門は近代日本の政治外交史。史料の翻刻も手掛けるほか、大正・昭和期の代表的経済評論家であった高橋亀吉の経済政策論や昭和4年の式年遷宮における画期性を論じるなど、枠にとられない研究の幅広さを看取することができる。

深津氏、田浦氏が名誉教授に

前特別教授の深津睦夫氏は昭和28年生まれ。東京教育大学、名古屋大学大学院文学研究科修士課程修了、同博士課程を単位取得満期退学後、昭和56年に文学部助手、昭和62年に専任講師として本学に着任。以来、42年の長きにわたり勤務され、教授としての実績は21年に及ぶ。この間、佐川記念神道博



深津睦夫氏

物館館長、学長補佐、文学部長等を歴任。平成16年に名古屋大学より博士(文学)の学位を取得。教育開発センターの立ち上げにあたっては中心的な役割を果たし、同センター長として本学の発展に尽力された。

研究室 探訪 Vol.28

数理解教育コースの新設が 新たな地平を拓く一助に



村瀬雅俊 特命教授 教育学部

「数学の魅力は、パラドックス」

数学は2500年以上の歳月をかけて人類によって創造されてきた学問である。数学の魅力は、一見、現実離れして抽象化した数学が、逆に、現実世界の理論的基盤を与え続けるというパラドックスにある。この「不可能」に直面しながらも、それを「可能」にしていくというパラドックスは、驚くべきパラダイム転換であり、人類を魅了して止まない。だからこそ、数学は発展し続けるのである。これまでの学校教育では、「不可能」を「可能」にしていくパラドックスの意義が十分に伝えられていない。そこで、数理解教育コースでは、「数学は生命現象である」と捉え、その基本要素として「論理と直観、解析と構成、一般性と個別性」からなるパラドックスに着目し、学生の皆さんに数学の魅力を伝えることをめざしたい。

創造的学習により学生が変容

創造的学習と創造性教育においては、数学的パラドックスが必要である。このパラドックスを活用することで、今年度、幾何学基礎、代数学基礎を履修している学生の皆さんが、以下の感想のように既に変容している。数理解教育コースの新設が、本学・教育学部の新たな地平を拓く一助になることを期待したい。

「難しい内容で理解不能(4/12)。平面かと思っただけに、複雑かと思っただけに、視点の違いを実感(4/19)。今まで考えてきた数学の中で最も興味深く、理解できた時の達成感がある問題、次第に糸が繋がっていく感覚は、今まで感じたことのない何とも表現し難い感動(4/26)。本当の分かる(4/26)。本当の分かる(4/26)。本当の分かる(4/26)。本当の分かる(4/26)。」

※括弧内は授業日

Global グローバル

「全米さくらの女王」が来校

皇學館高校・中学校

アメリカ・ワシントンで開催された春の祭典「ナショナル・チェリーブロッサム・フェスティバル」で「全米さくらの女王」に選ばれたマデリン・マッガリーさんが6月12日来校した。明治45年、東京市長だった尾崎行雄（粵堂）が日米親睦を願い、桜の苗木を寄贈したことから始まった同祭典。伊勢が尾崎に縁の深い地であるため、さくらの女王一行は訪日の際、伊勢志摩にも足を運んできた。コロナ禍により4年ぶりの来訪となった今回、マデリンさんは佳子内親王殿下への拝謁、岸田文雄内閣総理大臣との会談等、多忙な中で本校訪問となった。

当日、マデリンさんは午後3時過ぎに到着し、芝崎俊也校長と懇談。セミナーホールで開かれた歓迎式典では山中美璃依さん（高校2年）が流暢な英語で茶道部員から茶碗の持ち方、回し方などの作法の説明を受けるマデリンさん



積極的に生徒との会話を楽しめたマデリンさん(前列左から3人目)

挨拶をすると、マデリンさんも「日本の伝統と文化を勉強していきたい」とこやかに答えた。その後、茶道部（高校）の生徒に手ほどきを受けながら茶道を体験。華道部（高校）の生徒との交流や日本文化部（中学）の琴演奏を楽しんだ。最後に吹奏楽部（高校）が両国歌を演奏し、フィナーレを飾った。吹奏楽部の生徒とも笑顔で言葉を交わすなど積極的に交流を図られたマデリンさん。本校を後にする際は多くの生徒、教職員が両国の手旗を振り、別れを惜しんだ。

フェリペ先生のスペイン語講座が好評

皇學館高校・中学校

5月19日、ALTのフェリペ先生によるスペイン語講座（5月から3回）が開かれ、35名（皇學館高校22名、皇學館中学校13名）の希望者が参加した。

この講座は生徒の実践的な語学力の向上及び国際理解教育の一層の推進を図るのが狙い。第1回の授業では「私」「彼」などの人称代名詞、「こんにちは」「こんばんは」等の挨拶、「私は伊勢に住んでいます」「私は学生です」といった自己



基本的な表現や単語を優しく丁寧に教えるフェリペ先生



フェリペ先生とスペイン語での会話を楽しむ生徒

紹介をはじめ、日常でよく使われる単語を中心に指導が行われた。フェリペ先生は1時間ほどの講座中、スペイン語以外は一切話さず、生徒たちはまさにスペイン語のシャワーを浴びているかのよう。最初はとまどっていた生徒たちも徐々に慣れ、積極的に反復練習に参加していた。上達も早く、生徒たちは楽しそうに先生と会話をし、次々に新しい表現を習得していた。フェリペ先生は英語、スペイン語、フランス語が堪能で、2学期（9月から4回）はフランス語講座の開催を予定している。

国際理解・国際交流出前授業を実施

皇學館中学校

志摩市で開催された「G7三重・伊勢志摩交通大臣会合」を機に、同会合推進協議会が県内の学校を対象に「国際理解・国際交流出前授業」を実施。皇學館中学校では5月19日に行われ、全校生徒61名が参加した。

講師は三重県国際交流財団の後藤謙次さんと四日市市で英会話教室を開くアメリカ・カリフォルニア州出身の阿部シャロンさん。後藤さんは会合を開く目的やどのような話し合いが行われるかをわかりやすく解説。シャロンさんはアメリカの主な移動手段が車であることや電気自動車の普及率などを話した。また、日本の生活様式や食、文化の違いについて



テレビ取材を受けたことで、「考えを簡潔にまとめるようになりたい」と話す生徒も



アメリカの交通事情を説明するシャロンさん

もユーモアを交えて説明した。シャロンさんへの質問コーナーでは多数の生徒から手が上がり、充実した時間となった。以下に生徒の感想を抜粋して紹介する。

- 日本とアメリカの交通事情や文化の違いがよくわかった。ほかの国についても知りたいと思った。
- 海外には走るだけで充電できる車道があることを知り、日本にも普及すれば環境に良いと思った。
- さまざまな価値観があると気付かされた。外国の方と接するときはその国の文化を理解した上で話すようにしたい。
- 日本の治安の良さや皆保険制度のありがたさに改めて気が付いた。
- 国別のSDGsの達成率を見て、日本の現状を把握することができた。

皇學館大学出版部 出版物のご案内

古事記 修訂版(復刻版)

西宮一民著
定価 2080円(税抜) A5判・218頁

本書は、初版・新訂版を経て、平成12年に修訂版として出版された。出版社の事情で入手困難となっていたが、多くの要望に応え、新たに復刻版として刊行したものである。



ご注文の際は、出版部ホームページ(右記のコードからアクセスできます)からお申込みください。 [詳しくはこちら](#)

萼の会地区別教育懇談会のご案内

皇學館大学の保護者の会「萼の会」の地区別教育懇談会を下記のとおり開催いたします。

開催日	開催地	会場
8月26日(土)	津	ホテルグリーンパーク津
	大阪	ホテルモントレグラスミア大阪
8月27日(日)	浜松	オークラ アクトシティホテル浜松
	福岡	ANAクラウンプラザ ホテル福岡
9月2日(土)	伊勢	皇學館大学
9月3日(日)	名古屋	JRゲートタワーカンファレンス

在学生の保護者の皆様には、詳細を郵送でご案内いたします。(参加には申し込みが必要です)

お問い合わせ先

皇學館大学 萼の会事務局
(学生支援部学生担当) TEL 0596-22-6317

令和5年度 史料編纂所公開講座

古代の志摩国 一神亀六年 志摩国輸庸帳からわかること

皇學館大学研究開発センター教授 荊木美行
定員 50名

9月9日(土) 13:00~15:00
皇學館大学 5号館 3階 536教室
聴講をご希望の方は申込フォームよりお申込みください。 [詳しくはこちら](#)

イベントのご案内

中・高・大合同 9月18日(月・祝) 皇學館DAY 2023

◆イベント◆進学相談会 ほか
三重県総合博物館 MieMu 10:00~15:30

◆皇學館高等学校吹奏楽部 第16回 定期演奏会
三重県文化会館 大ホール
開場 15:00 開演 16:00(予定) 入場料 1,000円
詳細は皇學館高校HPにてご確認ください。(8月中旬以降)

第24回 高校生英語スピーチコンテスト 開催のご案内

スピーチ動画募集中

地域社会に教育研究の成果を還元し高校生の英語運用能力の向上に貢献したいと、文学部コミュニケーション学科では三重県教育委員会・三重県高等学校英語教育研究会の後援を得て高校生を対象に「高校生英語スピーチコンテスト」を開催しています。第24回となる今年は昨年度と同様にスピーチ動画の募集を行います。日頃の勉強の成果を試すまたとない機会です。みなさんのご応募をお待ちしています。開催案内・応募書類についてはHPをご覧ください。

応募期間 9月15日(金)~10月13日(金)

応募書類送付先・連絡先
皇學館大学 文学部
コミュニケーション学科研究室
〒516-8555 伊勢市神田久志本町1704
e-mail commu@kogakkan-u.ac.jp [詳しくはこちら](#)

Regional Collaboration 地域連携

学生がCLL活動をアツプデート CLL Leader's Workshopを開催

CLL活動をする中で感じた困りごとや悩みをみんなで共有し、よりよい運営に生かそうと、6月29日に712教室で初の「CLL Leader's Workshop」が開かれた。参加者は浮かび上がった共通の課題や個別の問題について、活発に意見を交わしていた。

平成27年にスタートしたCLL活動は伊勢志摩定住自立圏を主なフィールドに地域課題について体験を通して学ぶ学修プログラムである。6月29日に実施されたワークショップはCLL活動に取り組み中での課題をプロジェクトの垣根を超えて共有し、解決へのヒントを探ろうというもので、会場とな

った712教室には6団体のリーダーやメンバーが集い、日頃感じている困りごとや悩みをざっくばらんに話し合った。最初こそ緊張していたものの、活動に携わる者同士、すぐに打ち解けた参加者たち。感じている課題を付箋に書き出すと、「人手不足」「活動資金の調達方法」「新規加



付箋に書かれ「見える化」された課題について議論する参加者

入メンバーへの対応」等、同じような問題を抱えている状況が浮かび上がった。また、「最適な役割分担の仕方がわからない」「ミーティングの日程調整が難しい」「やる気に温度差がある」といった社会人

に通じる内容も話題に上り、CLL活動の運営そのものが実践力を養う格好の機会になっていることが改めて示された。「発想の広げ方」についての相談には「実現可能性を一旦脇に置いて、自由に考える」「妄想でもいいから自分がやりたいことを起点にする」など、自

身の経験をもとにアドバイスする場面が見られた。後半は「CLL活動を倉陵祭に出展するならば」とのテーマが設定され、「活動実績のパネル展示」「担当教員によるトークショー」「成果物の販売」「トウクトークを走らせる」など多彩なアイデアが寄せられた。

「言語化」で現状を整理 「まずは何に困っているかを言語化、見える化することで現状を整理できる」と教育開発センターの池山敦准教授。地域課題学修支援室や大学のシステムでサポートできる対策は早急に進めていきたいと語り、「今日のワークショップがプロジェクトを円滑に進めるヒントになってくれれば」と話した。第2回は秋に開催する予定だ。

- ワークショップ参加団体
- 「広報いせ」特集記事制作プロジェクト
 - みえ食の「人財」育成プラットフォーム商品開発事業
 - 伊勢ぶちたび～EVモビリティを活用した市内周遊促進事業～
 - 度会カフェリョクプロジェクト
 - 「Gift of Ise」プロデュースプロジェクト
 - 地域活性化サポーターズFIT



和やかな雰囲気の中、現場の悩みを本音で語り合う

令和4年度は2件の受託研究を実施

受託研究とは学外諸団体等から研究・調査等の委託を受け研究を行い、その研究成果を委託先に報告するものである。令和4年度は2町から2件の研究委託を受けた。地域のシンクタンクとしての機能を一層高め、産官学の連携強化、研究を通じ社会貢献を図っていく。

玉城町明るい未来づくりに関する調査研究業務
研究担当者 ● 池山 敦
契約相手先 ● 玉城町
受託期間 ● 令和4年4月26日～令和5年3月17日

地域活性化対策（住民向け活動計画策定）支援業務委託
研究担当者 ● 池山 敦
契約相手先 ● 南伊勢町宿田曾地域活性化協議会
受託期間 ● 令和4年11月30日～令和5年3月31日

令和5年度 皇學館おかげキャンパスプロジェクト

伊勢茶振興プロジェクト
令和5年5月27日～令和6年1月31日
担当教員 ● 駒田聡子
若い世代をターゲットに三重ブランドのひとつである「伊勢茶」の認知度を高め、将来の消費に結び付ける。

教育学部エキスポが復活！オープンキャンパス2023



「他者の学びから得るものは多い」と中條教授

教育・研究活動の成果を学内外に発信し学びを深めようと、倉陵祭期間中に行われていた「教育学部エキスポ」。コロナ禍により開催を見合わせていたが、7月9日に実施されたオープンキャンパス2023「大学発見DAY」で復活。教育学部の学生たちはそれぞれに工夫を凝らし、取り組んできた教育・研究活動の成果を発表した。

国語教育学ゼミ所属の桃原みのりさん（3年）は「教育に関心のある人たちと関われ、良い刺激になった。高校生向けの企画でもあったため難易度の設定や言葉選びに苦労したが、来場した高校生の反応を見て発信の重要性を実感した」と感想を話した。教育学部の中條敦仁教授は「今、学校教育では主体的・対話的で深い学びが求められているが、発表に取り組んだ学生たちがまさに体現していた。食べる暇を惜しんで準備に勤しむ姿が頼もしく、感慨深かった」と語った。

教育学部エキスポ2023 エントリー

発表テーマ		発表テーマ	
No.	ゼミ名 教員名	No.	ゼミ名 教員名
1	自尊心について 教育行政学 市田敏之	10	The Beatles 音楽教育 高橋摩衣子
2	LGBTについて 教育行政学 市田敏之	11	丸わかり! とうして出来る上がる 国語の授業 中條敦仁
3	ヒストリー of 教育 美術館 教育史学 井上兼一	12	想いを形に ～教育哲学ゼミ～ 教育哲学 野々垣明子
4	カレンダーの数学 数学教育学 上野祐一	13	社会科教育ゼミ「萩原電力ラボ ～未来の発電を考える～」 社会科教育学 萩原浩司
5	パスル・ゲームを通して学ぶ数学の面白さ 数学教育学 上野祐一	14	つばさ ～教員採用試験って何するの?～ 萩原浩司
6	プロが伝授! ICTの世界 特別支援教育工学 大杉成喜	15	児童を対象とした心理教育的支援 特別支援教育 山本智子
7	体験を通して伊勢茶の美味しさを知ろう 家庭科教育 駒田聡子	16	アノタの知らない世界 発達心理学 吉田直樹
8	コーチングゼミ研究発表 コーチング学 佐藤武尊	17	おいでよ! 心理学の森 教育心理学 渡邊賢二
9	理科教育の世界を体験しよう! ～理科好きを育てるために～ 生物学 & 理科教育学 中松 豊 澤 友美	18	みて、みて! 道徳ゼミのすべて 道徳教育 渡邊 毅

久邇宮朝彦親王曾孫 久邇邦昭氏が来館



邦昭氏が3歳の節句に伏見宮家より贈られた五月人形

朝彦親王の関係資料について、長谷川怜国史学科准教授による説明を聞く久邇ご夫妻



神道博物館の浦野綾子准教授(左端)、小林郁助教(左から2人目)より寄贈資料を展示等で活用させていただいている旨をお伝えした

皇學館を創始された久邇宮朝彦親王の曾孫にあたる久邇邦昭氏が、正子夫人とともに4月25日、本学を訪問された。氏は平成2年に神宮大宮司に就任。平成5年の第61回式年遷宮にあたり、平成13年まで11年間にわたってその重責を担われた。佐川記念神道博物館にて小串和夫理事長、河野訓学長らの出迎えを受けた氏は貴賓室で休憩された後、令和2年にご寄贈いただいた「五月人形・剣」「兜」をご覧になられた。

「五月人形・剣」は氏が3歳の節句に五月飾として奉製された。佐川記念神道博物館では5月18日から6月24日にかけて「久邇家の五月」と題し、これら貴重な寄贈資料を初公開。本学図書館所蔵の、朝彦親王が中川宮と称していた時の「西郷隆盛宛書簡」「短冊」等も同時に展示し、好評を博した。

もの。久邇家では五月飾を3歳から5歳に限って飾ることから、ご子息である久邇朝尊神宮大宮司が5歳の時に飾って以来になるとの話を賜った。なお「五月人形」は氏の御母・知子女王の御実家である伏見宮家より贈られた品である。

3回戦で白山高校に惜敗

皇學館高校野球部



最後まで粘り強く戦った選手たち

甲 子園への切符をかけ、7月7日に始まった第105回全国高校野球選手権記念三重大会。本校野球部は同月8日、ダイムスタジアム伊勢にて相可高校と初戦を戦い、7-1で勝利。15日に実施された上野高校との2回戦は3-0で制し、3回戦進出を決めた。



スタンドから届く熱い声援

22日、ベスト8をめざし戦ったのは白山高校。本校は1回表の攻撃で4番森田遼太郎選手(3年)がライトヘタイムリーヒットを打ち1点を先制。6回表まで4対1とリードを広げるも、6回裏で白山高校に4点を入れられ、逆転を許す。7回表に1点を返し、同点で迎えた9回裏。ショートへのタイムリー内野安打を放たれ、5-6でサヨナラ負けを喫した。主将の笹木椋介選手(3年)は「多くの方々の支えのおかげで我々は好きな野球ができたことを感謝します」と話し、後輩に望みを託した。

なお、今大会の開会式で「栄冠は君に輝く」を披露したロックバンドWildPitchのボーカル・長谷川健太さんは本校の卒業生。長谷川さんの歌う「チャーム」が三重テレビ放送の今大会のテーマソングに選ばれ、大会を盛り上げた。

2年生が北海道へ4泊5日の修学旅行

4 泊5日の行程で2年生が2組に分かれ北海道への修学旅行を実施した。先発組は6月19日～23日、後発組は6月20日～24日。現地では北海道神宮をはじめ納沙布岬、北方四島交流センター、ノーザンホースパーク、然別湖、小樽市等を巡り、北海道ならではの雄大な自然や風土、歴史を満喫したようだ。以下に生徒の感想を抜粋して紹介する。

北方領土を実際に見て、得た学び 2年1組 水落蒼葉

北方四島交流センターで鈴木咲子さんによる講話を聴き、その後、納沙布岬で実際に北方四島の一部を見ました。映像や文字のみでは得られない、自国領土が外国に不法占拠されているという実感が、北方四島まで数キロの地点に近づくことで得られたように思います。また、ホテルや小樽、然別湖、ノーザンホースパークで友達との楽しい思い出を数え切れないほど残すことができました。バスの車



北方四島交流センターでの講演

内ではガイドの方の解説で、北海道についての深い知識をいくつも得られました。

人の支えがあってこそ楽しい旅に 2年8組 安藤紗耶香

私は今回の修学旅行で「人の温かさ」を感じました。1日目、大阪のホテルへバスで向かっている時、たくさんの人が私たちに向かって笑顔で手を振ってくれました。些細なことだけれど、嬉しく、これからの5日間はより楽しみになりました。北海道では北方領土問題についての講話や然別湖での自然体験、小樽市内での自由散策など貴重な体験をしました。振り返ってみると、周りの人の支えがあったからこそ、修学旅行を楽しく終える



小樽運河前で記念撮影

ことができたのだと気付きました。この修学旅行を通して、私も人を支えられるような「人」に成長したいと思いました。

学年の枠を超え協力

全学年合同「地域フィールドワーク」を初実施

4 月28日、全学年一斉の校外活動である「地域フィールドワーク」が行われた。本校初めての企画となる同フィールドワークは地域の文化施設を見学し、本校ゆかりの歴史や文化に対する理解を深めるほか、学年・クラス間の協調性を育むのが狙い。天候に恵まれた当日は6つの班に分かれ、午前中に神宮徴古館、農業館、美術館を見学。午後は倭姫宮を参拝した後、伊勢古市参宮街道資料館や麻吉旅館など古市街道周辺の文化施設を見て回った。



上/伊勢古市参宮街道資料館にて
下/神宮徴古館で楽しく昼食

参加した3年生の生徒は「クラスメイトを見習って、自分も大きな声で班を誘導した。ワークシートを完成させるためにみんなで協力し、写真も相談して撮影した」、2年生は「3年生がすごく努力していることに気付いた。先輩たちのようになれるのか不安だが、頑張っていきたい」「1年生とたくさん触れ合えて楽しかった。重い荷物を持って歩いたり長い階段を上ったりして足が棒のようになったけど、とても貴重な体験ができた」、1年生は「美術館や農業館に行くのは初めてで、近くにこんな素敵な場所があると知ってよかった。麻吉旅館では『千と千尋の神隠し』に出てきそうな街並みが広がっていて面白かった。資料館では伊勢の昔の文化や暮らしがわかり、『さすが伊勢!』と思った」等の感想が寄せられた。それぞれ大きな学びを得たフィールドワークとなった。

圧巻の生歌・生演奏で魅了

中部フィルハーモニー交響楽団が来校



本物に触れ、その迫力に驚いた様子の生徒たち



指揮者体験をする
伊藤直子さん(3-A)

6 月26日、文化庁主催「文化芸術による子供育成推進事業」の一環で中部フィルハーモニー交響楽団による公演が行われた。

約60人編成によるオーケストラは行進曲「威風堂々」「きらきら星変奏曲」「プリंक・プランク・ブルンク」など、その圧倒的なパフォーマンス、大迫力の音色で生徒を魅了。演奏の度に万雷の拍手が起こった。また、「オーケストラの名曲で自然クイズに挑戦!」では川や雷といった自然の音を楽器で表現したり、生徒がベートーヴェンの交響曲第5番「運命」の指揮を体験するコーナーもあり、大いに盛り上がった。右記に生徒の感想を紹介する。

- テレビやスマホで聴くのと生演奏とはこんなに音が違うものなのかと驚いた。
- 弦を弓ではなく指で弾いたり、こすったりといろいろな奏法があることを知った。
- 今回の演奏を聴いてクラシックが好きになった。
- プロの音楽を奏でる力に圧倒された。
- 音が生きているような不思議なすごさを感じる演奏だった。
- ボディーパーカッションを体験できとても楽しかった。
- 楽器一つひとつの紹介、それぞれの演奏法がわかり面白かった。

令和4年度 収支決算報告

学校法人皇學館の令和4年度決算は、令和5年5月30日開催の理事会で承認されましたので、ここにその内容を報告致します。

なお、公式ホームページ(https://www.kogakkan-u.ac.jp)の大学概要～IR情報～事業報告～令和4年度にて、法人設置の教育研究機関・学校法人の組織機構・入学生数・在籍者数・卒業生数・進路状況及び法人の事業報告書、財務の概要等を公表しておりますので、併せてご覧ください。

令和4年度収支決算書は、以下のとおりです。

詳しくはこちら▶



1 資金収支計算書

この計算書は、企業会計におけるキャッシュフロー計算書に近いもので、当該会計年度の教育研究活動及びその活動に付随する全ての資金の動きと内容を明らかにすることを目的としています。

令和4年度においては、引き続き新型コロナウイルス感染症への対応による教育活動の中止等もありましたが、教室等の除菌清掃等を継続しながら教育活動の充実を図り「教育活動資金収支差額」は黒字となりました。また、創立140周年・再興60周年記念事業も執り行いました。

資金収支計算書(法人全体)

令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位：千円

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,765,731	3,785,438	△19,707
手数料収入	62,568	64,333	△1,765
寄付金収入	72,995	91,312	△18,317
補助金収入	800,971	841,290	△40,319
資産売却収入	177,500	177,500	0
付随事業・収益事業収入	16,936	11,107	5,828
受取利息・配当金収入	8,871	12,694	△3,823
雑収入	308,024	282,569	25,454
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	617,566	643,853	△26,287
その他の収入	128,036	244,290	△116,253
資金収入調整勘定	△714,882	△772,597	57,714
当年度資金収入合計	5,244,316	5,381,791	△137,475
前年度繰越支払資金	2,162,131	2,162,131	0
収入の部合計	7,406,447	7,543,922	△137,475

前年度比マイナス120名の学生生徒数3,947名分の学納金等の納付金です。

【内訳】(R4.5.1現在) 大学(院専含) 2,827名 高中 1,120名 ※前年度の学生生徒数は、4,067名でした。

教学振興会(神社会・卒業生・企業など)、協議員、皇學館サービス株式会社、中学校・高等学校後援会他からいただきました「教育活動に対する寄付金」です。

国や地方公共団体からの補助金です。例年の経費補助金に加え、令和4年度は大学部門における国の「修学支援新制度」の実施に伴う支援金は1億8千4百万円となりました。また、大学部門においては「施設整備費補助金(ICT活用推進事業)」を獲得し、無線LAN機器高機能化を行いました。高等学校部門においても同補助金により電子黒板付プロジェクターを整備、三重県からは高等学校・中学校部門に「私学物価高騰対策支援補助金」を預託しました。

令和4年度に実施した入試により、令和5年度の入学予定者から徴収した入学金を含む納付金です。入学手続者は、大学・高等学校・中学校合わせて1,532名でした。

本務教員168名、本務職員108名、兼務職員21名他の人件費を支払いました。

教育研究諸活動や管理運営に必要な消耗品費、奨学金、光熱水費、旅費交通費、施設修繕費、保守管理費等を支払いました。R4年度は、創立140周年・再興60周年記念事業の経費を計上しております。

大学部門では、神道博物館屋上防水改修、記念講堂及び倉庫会館のトイレ改修、4号館受電設備の機器更新、高等学校部門ではテニスコートの人工芝張替、受水槽付給水ポンプの更新等を行いました。

大学・高等学校・中学校の各無線LAN高機能化構築、NeoEther回線増速対応(10G)、大学6～7号館の7教室AVシステム更新、図書館入退館システム更新、高等学校の電子黒板付プロジェクター整備等を行いました。

令和4年度末の支払資金残高は、2,148,803千円となり、「教育活動資金収支差額」は、643,219千円の黒字となりました。

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	2,850,745	2,800,164	50,580
教育研究経費支出	1,218,250	1,095,875	122,374
管理経費支出	470,413	448,653	21,759
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	46,174	43,992	2,181
設備関係支出	214,064	202,164	11,899
資産運用支出	686,025	688,597	△2,572
その他の支出	126,311	202,399	△76,087
[予備費]	(0)	0	0
[予備費]	20,000	20,000	0
資金支出調整勘定	△91,756	△86,728	△5,027
当年度資金支出合計	5,540,226	5,395,119	145,107
翌年度繰越支払資金	1,866,221	2,148,803	△282,581
支出の部合計	7,406,447	7,543,922	△137,475
当年度資金収支差額	△295,910	△13,328	△282,582

【注1】記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。
【注2】貸借対照表の注記は省略しています。

2 事業活動収支計算書

この計算書は、企業会計における損益計算書にあたるもので、学園の経営状況を表し、令和4年度における事業活動収支の均衡状況とその内容を明らかにするものです。事業活動収支を「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」に区分し、企業会計に近い形式となっています。令和4年度の「基本金組入前当年度収支差額」は2億7千2百万円の増となりました。

事業活動収支計算書(法人全体)

令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位：千円

教育活動収支			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	3,765,731	3,785,438	△19,707
手数料	62,568	64,333	△1,765
寄付金	42,995	62,216	△19,221
経常費等補助金	769,807	810,126	△40,319
付随事業収入	16,936	11,107	5,828
雑収入	335,668	310,915	24,752
教育活動収入計	4,993,705	5,044,137	△50,432
事業活動支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費(退職給付引当金繰入額)	2,798,984(44,191)	2,745,669(44,001)	53,314(189)
教育研究経費(減価償却額)	1,724,843(506,593)	1,598,677(502,369)	126,165(4,223)
管理経費(減価償却額)	499,633(29,220)	487,380(39,310)	12,252(△10,090)
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	5,023,460	4,831,728	191,731
教育活動収支差額	△29,755	212,409	△242,164
教育活動外収支			
科目	予算	決算	差異
受取利息・配当金	8,871	12,694	△3,823
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	8,871	12,694	△3,823
教育活動外支出の部			
科目	予算	決算	差異
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	8,871	12,694	△3,823
経常収支差額	△20,884	225,104	△245,988
特別収支			
科目	予算	決算	差異
資産売却差額	250	249	1
その他の特別収入	71,679	68,451	3,227
特別収入計	71,929	68,701	3,227
特別支出の部			
科目	予算	決算	差異
資産処分差額	21,706	21,706	0
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	21,706	21,706	0
特別収支差額	50,223	46,995	3,227
[予備費]	(0)	20,000	20,000
基本金組入前当年度収支差額	9,339	272,099	△262,760
基本金組入額合計	△79,204	△70,684	△8,519
当年度収支差額	△69,865	201,415	△271,280
前年度繰越収支差額	△3,061,124	△3,061,124	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△3,130,989	△2,859,708	△271,280
【参考】			
事業活動収入計	5,074,505	5,125,534	△51,029
事業活動支出計(予備費含む)	5,065,166	4,853,434	211,731

教学振興会(神社会・卒業生・企業など)、協議員、皇學館サービス株式会社、中学校・高等学校後援会他からいただきました「教育活動に対する寄付金」です。

教育活動に関する経常費等補助金です。

教育研究経費及び管理経費の減価償却額合計は5億3千5百万円となりました。

教育活動収支差額は、2億1千2百万円の黒字となりました。

教育活動収支及び教育活動外収支を合わせた経常収支差額は2億2千5百万円となりました。

施設設備に関する寄付金(高等学校後援会からの寄付金)と施設設備への補助金、その他各所から預託した図書等の現物寄付等を計上しています。

建物、構築物、機器備品、図書の資産処分差額です。

3 貸借対照表

この計算書は、決算日における資産及び負債、純資産の内容及びり高を明示し、学校法人の財政状態を明らかにすることを目的としています。固定資産については、「有形固定資産」「特定資産」「その他の固定資産」の3つの中科目を設けて表記しています。令和4年度においては、順調に資産は増加し、負債は減少しました。結果、純資産は2億7千2百万円の増となりました。

貸借対照表

令和5年3月31日 単位：千円

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	17,778,934	17,592,320	186,614
有形固定資産	10,883,652	11,195,007	△311,355
土地	551,349	551,349	0
建物	7,103,651	7,398,999	△295,348
構築物	464,865	501,584	△36,718
教育研究用機器備品	643,390	617,246	26,144
管理用機器備品	26,901	42,817	△15,916
図書	2,064,843	2,048,819	16,023
車両	28,651	34,191	△5,540
特定資産	6,765,278	6,265,710	499,567
第3号基本金引当特定資産	162,040	162,040	0
退職給付引当特定資産	1,233,365	1,233,365	0
施設維持引当特定資産	3,328,674	2,928,674	400,000
学園財政調整引当特定資産	1,500,000	1,400,000	100,000
学生寮施設維持引当特定資産	11,040	10,066	974
教学振興基金引当特定資産	150,000	150,000	0
藤田学術振興基金引当特定資産	67,591	64,068	3,522
津田学術振興基金引当特定資産	302,104	305,138	△3,034
奨学金引当特定資産	10,462	12,357	△1,895
その他の固定資産	130,004	131,602	△1,598
電話加入権	3,959	3,959	0
有価証券	109,596	109,596	0
差入保証金	5,016	5,016	0
預託金	10,000	10,000	0
長期未収入金	0	600	△600
長期貸付金	1,433	2,431	△998
流動資産	2,666,831	2,753,871	△87,039
現金預金	2,148,803	2,162,131	△13,328
補助活動支払資金	187,150	210,083	△22,932
研修旅行費等預り資産	152,217	230,458	△78,241
未収入金	156,521	115,597	40,924
販売用品	2,507	1,451	1,056
短期貸付金	946	1,021	△75
立替金	0	14,371	△14,371
前払金	18,684	18,756	△71
資産の部合計	20,445,765	20,346,191	99,574
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,042,228	1,161,986	△119,758
退職給付引当金	1,018,559	1,102,815	△84,255
長期未払金	23,668	59,171	△35,502
流動負債	974,048	1,026,815	△52,767
未払金	103,475	106,446	△2,971
前受金	643,853	616,675	27,177
預り金	226,720	303,693	△76,973
負債の部合計	2,016,276	2,188,801	△172,525
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	21,289,197	21,218,513	70,684
第1号基本金	20,797,157	20,726,473	70,684
第3号基本金	162,040	162,040	0
第4号基本金	330,000	330,000	0
繰越収支差額	△2,859,708	△3,061,124	201,415
翌年度繰越収支差額	△2,859,708	△3,061,124	201,415
純資産の部合計	18,429,489	18,157,389	272,099
負債及び純資産の部合計	20,445,765	20,346,191	99,574

ご寄付のお願い

お問合せ先 ● 教学振興会事務局 TEL 0596-22-6313

皇學館では、教育・研究の充実等に活用させていただき寄付金を募っております。各寄付の趣意をお汲み取りいただき、何卒本学の教育・研究振興にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



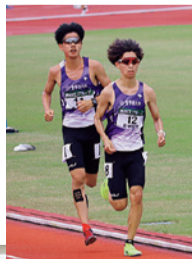
詳しくはこちら▶

教学振興会	法人	1口 20,000円
大学 高校 中学	個人	1口 5,000円

未来の日本を担う人材を育成するため、大学・高校・中学では教育研究活動、学生・生徒への修学支援活動、国際交流活動、地域社会貢献活動など多彩な教学振興活動を行っております。皆様の熱意あるご支援とご協力をお願いします。

大学強化指定クラブ協賛金	法人	1口 10,000円
大学	個人	1口 3,000円

大学では、駅伝競走部、柔道部を強化指定クラブとし、全国で活躍できる選手の育成に努めています。全国大会に出場する両クラブの競技力向上のため、皆様の協賛金へのご協力をお願いします。



皇學館クラブ応援メッセージ募金	法人	1口 2,000円
大学 高校	個人	1口 1,000円

学生・生徒のクラブを指定し、ご支援いただく募金です。指定先のクラブの活動強化・充実に役立てられます。クラブへの応援メッセージも受け付けております。皆様の熱いメッセージと募金をお願いします。



令和4年度皇學館クラブ応援メッセージ募金授与式の様子(高校の野球部・吹奏楽部)

アクティブ スチューデント

Active Student

高い志とチャレンジ精神でもって学内のみならず、さまざまなフィールドで活躍している皇學館生たち。本コーナーでは彼らの熱い思いとともに、その活動ぶりをご紹介します。

中川陽司(教育1)さんがU20男子十種競技で3位 第39回 U20日本陸上競技選手権大会・混成競技

6月10日から11日かけ秋田県営陸上競技場で開催された第39回U20日本陸上競技選手権大会・混成競技男子十種競技で中川陽司さん(教育1)が3位に輝いた。「正直、優勝できると思っていた」と悔しさを見せる一方、「今後の大会で優勝を狙う気持ちが一層強まり、身体の使い方や技術を磨く必要性を痛

結果

順位	氏名 (大学名)	1日目					2日目					ポイント
		100M	走幅跳	砲丸投	走高跳	400M	110mH	円盤投	棒高跳	やり投げ	1500M	
1	齋藤泰希 (東海大学)	11.63	6m05	11m62	1m80	51.96	16.84	41m60	4m60	54m72	04:32.45	6774
2	梶川新 (中京大学)	11.21	6m63	11m80	1m85	50.44	15.21	30m24	3m60	50m03	04:28.77	6743
3	中川陽司 (皇學館大学)	11.16	6m63	10m97	1m80	50.90	14.64	29m02	4m20	47m14	04:40.18	6734

感した」と早くも次の大会を見据える。

十種競技の魅力について、「種目ごと、戦略によって順位が目まぐるしく変わるので見ていて楽しいのでは」と中川さん。選手間でよくコミュニケーションを取るため、ルーティンや休憩時間の使い方、練習方法など刺激を受けることも多く、また、補助員や審判員をはじめ運営・サポート側の方々から得るものは大きいという。

「一般」で挑んだ西日本学生陸上競技選手権大会十種競技では得意のハードルと棒高跳を武器に4位入賞。目標は全日本インカレでの優勝だ。「本気で日本一をめざしてやっている」との言葉が頼もしい。



全日本インカレ出場に向けてまずは標準記録を突破するため、試合・試合、自分の持つ記録を越えたいと話す

皇學館高校 陸上競技部、 男・女バドミントン部、 柔道部、写真部から全国へ! 全国高等学校総合体育大会・総合文化祭

北海道で7月22日～8月21日にかけて行われる全国高校総体(インターハイ)「飛び立て若き翼」に陸上競技部17名、女子バドミントン部9名、男子バドミントン部1名、柔道部1名、7月29日から8月4日のかごしま総文に写真部2名が出場する。全国への挑戦を前に意気込みを聞いた。

陸上競技部



前列左から田中さん、菅原さん、谷岡さん、三浦さん、丸山さん、岡島さん、浅井さん、後列左から馬場さん、山際さん、小村さん、竹内さん、岡さん、柳田さん、文珠さん、橋爪さん、上段左から田端さん、倉井さん

楽しむことを忘れず戦い抜く

新型コロナウイルスの影響で数々の大会が軒並み中止となり、まともに練習できないこともありました。まずは大会が開催されることに感謝し、自分たちの持っている実力を存分に発揮し、楽しむことを忘れずに戦い抜きたいと思ひます。馬場優臣

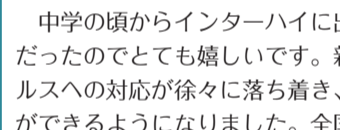
女子バドミントン部 目標はベスト8以上



前列左から森田さん、森本さん、稲吉さん、村井さん、後列左から吉居さん、世古口さん、牧さん、前田さん

昨年度、全国選抜に出場できなかった悔しい気持ちを糧に、強くなることをテーマに部員全員が意識を高く持って毎日練習に取り組んできました。今大会では最高のパフォーマンスをして悔いが残らない試合にし、目標である全国ベスト8以上を達成できるよう頑張ります。吉居 鼓

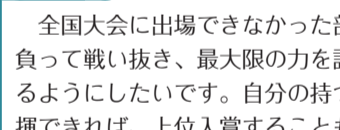
男子バドミントン部 まずは1回戦突破



松本 准

中学の頃からインターハイに出ることが目標だったのでとても嬉しいです。新型コロナウイルスへの対応が徐々に落ち着き、思う存分練習ができるようになりました。全国大会まで一日の練習を無駄にしないように頑張りたいと思います。目標は1回戦突破です。松本 准

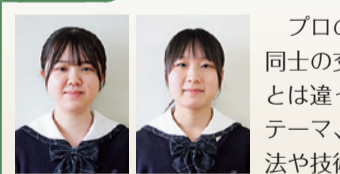
柔道部 力を出し切り入賞めざす



上村亮太

全国大会に出場できなかった部員の想いを背負って戦い抜き、最大限の力を試合当日に出せるようにしたいです。自分の持つ力を十分に発揮できれば、上位入賞することも夢ではないと思ひます。目標としている結果に繋がるように、今後の稽古も一生懸命がんばります。上村亮太

写真部 視野を広げ、今後に生かす



小谷さん 幸田さん

プロの写真家による講演会や生徒同士の交流会等を通して自分の写真とは違った点を学び、新しい題材やテーマ、自分の知らなかった撮影方法や技術も習得したいです。写真に対する自分の考え方や視野を広げ、今後の写真活動に生かしていきたいです。小谷志代

全国高等学校総合体育大会出場者

「翔び立て若き翼」北海道総体 7/22～8/21
※順位は、東海高校総体(陸上部)、三重県高校総体(バドミントン部・柔道部)の成績

陸上部	
男子200m	4位 馬場優臣(3年)
男子110mH	5位 橋爪蓮翔(2年)
男子棒高跳	3位 田中大智(2年)
女子走幅跳	2位 岡島奏音(1年)
女子走高跳	5位 浅井琥桃(2年)
男子4×100m	2位 小村涼斗(3年)
	馬場優臣(3年)
男子4×400m	1位 倉井星碧(2年)
	岡秀磨(2年)
リレーメンバー	文珠榮太(2年)
	柳田晴哉(2年)
	田端絆(2年)
	菅原雅晴(3年)
	山際匠(3年)
バドミントン部	竹内楓兼(3年)
	谷岡雄太(3年)
	丸山樹大(3年)
三浦響(1年)	

バドミントン部		
女子団体	優勝	森田彩音(3年)
		牧紗花(3年)
		吉居鼓(2年)
		前田愛心(2年)
		森本麻愛(2年)
		村井菜音(2年)
女子単	優勝	世古口来海(1年)
		稲吉礼有(1年)
女子複	優勝	世古口来海(1年)
		吉居鼓(2年)
男子単	優勝	世古口来海(1年)
男子複	優勝	松本准(1年)

柔道部

100kg級 優勝 上村亮太(3年)

全国高等学校総合文化祭出場者
2023かごしま総文 7/29～8/4

写真部	
第34回秋季写真コンテスト	金賞 小谷志代(3年)
第41回新人写真コンテスト	銀賞 幸田萌(3年)

特別企画

推し取材

「楽しむ」気持ちがいちばん! 曲、振り付け、衣装も手作り

よさこい部「雅」部長
富田 有里紗さん(教育3)



体育館で練習中

コロナ禍でもめげることなく地道に練習を重ね、頑張っている部活動を「学生広報隊」メンバーが取材しました。今回は、よさこい部「雅」を取り上げます。

- 活動状況を教えてください。
新型コロナウイルスの影響でメンバーが減ってしまい、今は15名で活動しています。練習日は月曜、土曜。依頼に応じているいるな地域へ行き、演舞を披露します。
- 人数が減ったことでの苦労は?
曲や構成、振り付けのほか、衣装も含めすべて自分たちで考え制作しているので、一人当たりの仕事量が増え、負担が大きくなっていることです。

- 振り付けや衣装など専門で学んでいなくても大丈夫ですか?
先輩に教えてもらったやり方で行っています。踊ることが好きな人以外にも、制作志望で入部する人もいますよ。
- 苦労がある上で、なお活動を続ける理由は何ですか?
「楽しいから」の一言。大変さ以上に、「踊ることが好き」という気持ちでみんなつながっています。
- 新型コロナウイルスの「5類」移行を受け、イベントへの参加依頼が増えると思います。演舞への意気込みを教えてください。
先輩方はコロナ禍で舞う機会がほとんどなく、観衆の前で踊るのは、自分たち

よさこい部「雅」練習日時・場所 ※土曜日はイベント優先
月曜日 17:00～20:00・体育館メインアリーナ
土曜日 15:30～18:00・体育館2階サブアリーナ

の代になって初めての経験。不安はありますが、頑張っって楽しもうという気持ちで臨みたいと思ひます。

●部活の宣伝をどうぞ。
少ない人数でも依頼は多く、9月2日(土)・3日(日)は「すずかフェスティバル」に参加します。アップされている動画を見て、「自分もやりたいな」と思ってくれば一番嬉しいです。練習風景を直接見ると迫力や熱量がわかってもらえると思うので、ぜひ見学に来てください!



詳しくはこちら▶
動画作成者: mozyuanYOSAKOIさん